

直診協会

令和5年1月

だより



東庄病院



諏訪大神



VOL.

190号



東庄町役場

公益社団法人千葉県国民健康保険直営診療施設協会

令和5年1月 CONTENTS

◎ (公社)千葉県国保直診協会 新年の挨拶

会 長 岩 田 利 雄 (東庄町長)

◎ わ が 職 場

国保国吉病院組合いすみ医療センター

看護局長 星 野 みゆき

◎ 行 事 食

地方独立行政法人香取おみがわ医療センター

臨床栄養科 高 安 和 美

◎ 第62回全国国保地域医療学会

令和4年9月16日・17日(かずさアカデミアホール)

◎ 令和4年度関東甲信静地区国保診療施設協議会

令和4年10月20日(ホテルメトロポリタン高崎)

◎ 薬剤部会 研修会 (ハイブリット形式)

令和4年11月12日(オークラ千葉ホテル)

◎ 事務部会 研修会

令和4年11月28日(千葉県国保会館)

◎ 医療従事者募集について

看護師・理学療法士・作業療法士

(公社)千葉県国民健康保険

直営診療施設協会



会長 岩田 利雄
(東 庄 町 長)

新年あけましておめでとうございます。
皆様には、健やかに新年をお迎えのことと、
心からお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響が未だ
収束を見せないところでありますが、昨年
は北京五輪で冬季最多のメダルを獲得する

など明るい話題から始まることのできた年でありました。

3月には、まん延防止が全面解除となり、様々なイベント・スポーツが
有観客で開催できるようになり、心身ともにリフレッシュをする機会があ
ることの大事さを改めて思い知りました。

さて、当協会においても社会の平常化に向けて、医療従事者の皆様が安
心・安全で良質なサービスの向上を実践していただき、住民の健康維持・
増進に尽力していただきたいことから、令和4年9月16日・17日に木
更津市の「かずさアカデミアホール」において、第62回全国国保地域医
療学会を6団体の主催で開催いたしました。多くの参加者が現地に集い、
久しぶりの対面での交流に笑顔が溢れている場面を多く拝見いたしました。

関係者皆様のご協力により、成功裏に終えることができたことに改めて
御礼申し上げます。

これからの地域包括医療・ケアの展望に少しでもお力添えができるよう
全力で努めて参ります。

本年が皆様方にとりまして、ご健勝で幸多い年となりますよう、心から
お祈り申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

わが職場

国保国吉病院組合 いすみ医療センター



1. 当院紹介

外房半島南部の緑あふれる田園地帯に位置し、いすみ市、大多喜町、御宿町の1市2町の組合立の病院です。

1949年に開院した「国保国吉病院」を前進とし、2009年、病院新築を機に、「いすみ医療センター」と名称変更し新たにスタートしました。

「介護老人保健施設シルバーハピネス」と「いすみ訪問看護ステーション」を併設しており、夷隅郡地域の急性期から介護期に至るまで地域の方と関わる地域包括ケアの拠点として医療を提供しています。



病院の理念：「人にやさしい医療」



病院概要

診療科：13科

病床数：144床

急性期病床 74床

（うち感染症病床 4床）

地域包括ケア病床 22床

医療療養病床 48床

【外来】

当院には内分泌代謝専門医も多く在籍しているため、糖尿病・透析予防に力を入れ、院内のみならず近隣の病院、診療所、行政とも連携を図り地域ぐるみで継続した医療、看護が提供できるよう努めています。



【訪問診療】

少子高齢化が進み、外来通院が難しい高齢者や癌末期で最後の時を自宅で過ごしたいと希望される方達があります。24 時間体制ではありませんが、地域で困っている方に寄り添い、ご本人・ご家族が安心して必要な医療が自宅にしながら受けられる、温かでアットホームな体制作りに力を入れ取り組んでいます。



【医療相談室】

今年度 10 月より退院支援看護師 1 名が加わり、MSW と合わせ 4 名体制となりました。各得意分野を生かした他医療機関紹介・転院調整、入退院調整、退院後訪問指導、患者相談、行政連携等、切れ目のない地域包括ケア構築に向け業務に当たっています。今後は地域医療連携室へ改名し更なる役割強化ができるよう邁進中です。

【3 階病棟】

当病棟は、内科病棟で、急性期から慢性期、終末期の患者さんの入院を受け入れています。

感染症病床 4 床を有しており、COVID-19 の患者さんの入院受け入れにも対応しています。安心して入院生活が送れ、早期に退院できるよう多職種と協働しています。高齢の患者さんが多いため、認知症ケアに力を入れた看護が提供できるよう心がけています。



【4 階病棟】

内科・外科・地域包括ケア病床の混合病棟です。患者さんのほとんどが高齢者で、退院困難な事例も多々ありますが、患者さん、ご家族の希望に添えるよう退院支援看護師、MSW と連携し対応しています。地域包括ケア病床ではレスパイト入院や他病院からの受け入れも行っています。



【5 階病棟】

医療療養病棟です。看護職、介護福祉士、看護補助員が協働し、多職種と連携をとっています。その人らしく生活できるように患者さん、ご家族との関わりを通し共に望む医療や環境について常に考え対応しています。今後も当院看護局理念の「人にやさしい看護」を実践していきます。

【いすみ訪問看護ステーション】

一人ひとりの思いに寄り添い、地域で信頼され続けられるよう安心、安全、あたたかな看護とリハビリの提供に努めています。



～そしてこれからも～

地域医療を担う病院として、患者さん一人ひとりの声に耳を傾け、ここに住む私たちだからできること、地域に根差した優しさと温もりのある看護を提供し続けたいと思います。

◆ 紹介施設情報 ◆

国保国吉病院組合 いすみ医療センター
〒298-0123

千葉県いすみ市荻谷11773番地

☎ 0470-86-2311

地方独立行政法人 香取おみがわ医療センター 当院の行事食



冬季限定 あったかメニュー おでん

・エネルギー 679kcal・たんぱく質 21.2g・脂質 8.1g・塩分 4.2g

病院のお食事から季節を感じる食材を使用するように心がけています。

寒い時期に食べたくなる「おでん」を、冬季限定、病院食で提供します。

おでんに組み合わせる副菜からは、食物繊維やビタミンもしっかりとることができます。

おでんの具は塩分の多い食材を使用しますので、1日を通して塩分量に注意し献立を作成します。



【おでん】

大根を下茹でし、味が染み込むように丁寧にじっくり煮込んでいます。

＜下準備＞

- ・卵を茹でて殻を剥く。
- ・結び昆布を水で戻す。
- ・大根は皮をむいて3cmの輪切りにし、面取りする。十文字に切り込みを入れ（味のしみ込みをよくする）、下茹でする。
- ・こんにゃくの両面に格子状に切り込みを入れ、下茹でし、ざるに上げる。
- ・焼竹輪、さつま揚げを切り、ざるに広げて熱湯をかけて油抜きする。

作り方

- ① 鍋にお湯を沸かし、おでんの素を加える。
- ② 具材を丁寧に入れて30分ほど煮込み、盛り付ける。

※当院では、盛り付け作業を考慮し、食材を別々に煮込んでから、最後に煮汁を混ぜて盛り付けています。

【さつま芋レモン煮】

甘めに煮つつ、さっぱりとレモン風味にしています。

作り方

- ① さつま芋は皮付きのまま1cm幅の輪切りにし、水につけておく。
 - ② ホテルパンに①を入れ、かぶるくらいの水と上白糖を加え、フタをし、スチームコンベクションのスチーム機能で6分加熱する。
 - ③ レモン汁を加え、盛り付ける。
- ※ ご家庭では、鍋を使用し、さつま芋に火が通ったら、レモン汁を加えます。

◆ 材 料 ◆

普通食〈一人分〉

- | | |
|-------------|-------------|
| ・大根 50g | ・焼竹輪 1/3本 |
| ・こんにゃく 1/8枚 | ・卵 1個 |
| ・はんぺん 1/2枚 | ・さつま揚げ 1/2枚 |
| ・結び昆布 1個 | ・おでんの素 2g |
| ・練りからし 2g | |

全粥食〈一人分〉

- | | |
|------------|-------------|
| ・大根 50g | ・焼竹輪 1/3本 |
| ・焼き豆腐 1/8丁 | ・卵 1個 |
| ・はんぺん 1/2枚 | ・さつま揚げ 1/2枚 |
| ・おでんの素 2g | |



◆ 材 料 ◆

〈一人分〉

- | | |
|-----------|---------|
| ・さつま芋 60g | ・上白糖 6g |
| ・レモン汁 2g | |



【しらす和え】

小松菜を色よく鮮やかに仕上げています。

◆ 材 料 ◆

〈一人分〉

- ・小松菜 65g
- ・しらす干し 5g
- ・減塩醤油 2g

作り方

- ① 小松菜を3cmに切る。
- ② 穴あきホテルパンに①を入れ、軽く塩を振り、スチームコンベクションのスチーム機能で7分加熱する。
- ③ 冷水に取り、水気を絞る。
- ④ ボウルに、小松菜としらすを入れ、減塩醤油を加えて和える。

※ご家庭では、耐熱容器に①を入れ、ふんわりラップをかけ、600W の電子レンジで3分程加熱、又は、沸騰したお湯へ塩を加え、小松菜を1～2分程茹でます。冷水につけ、水気を絞ります。



ゆかり御飯



キウイフルーツ



すまし汁

◆ 施 設 情 報 ◆

地方独立行政法人 香取おみがわ医療センター
 〒 289-0332
 千葉県香取市南原地新田 438 番地 1
 ☎ 0478-82-3161

第62回

全国国保地域医療学会

日時：令和4年9月16日(金)・17日(土)

場所：千葉県木更津市「かずさアカデミアホール」



○開会式

9月16日(金)午前9時30分(公社)国診協 小野会長の開会の挨拶から第62回全国国保地域医療学会が開幕することとなった。

写真は開会式で挨拶をする岩田東庄町長(写真 上)と海保学会長(写真 右)と。



○特別講演（10：50～11：40）

演 題 「チバニアンと房総の地質」

講 師 岡 田 誠 茨城大学理学部教授

司会者 海 保 隆 国保直営総合病院君津中央病院病院長(千葉県)



○教育セミナー 1

演 題 「未来を担うひとを育てる」

講 師 三澤 園子 千葉大学医学部附属病院脳神経内科准教授

司会者 安 蒜 聡 大網白里市立国保大網病院病院長(大網白里市)

○教育セミナー 2

演 題 「日本地域医療学会の設立及び
地域総合診療専門制度の構築について」

講 師 小野 剛 市立大森病院病院長(秋田県)
全国国保診療施設協議会会長



大原 昌樹 綾川町国保陶病院病院長(香川県)
全国国保診療施設協議会副会長

○教育セミナー 3

演 題 「オンライン資格確認を通じた

データヘルスの推進」

講 師 小出 顕生 国民健康保険中央会審議役

司会者 池田 俊明 国民健康保険中央会常務理事



○教育セミナー 4

演 題 「「日本健康会」について」

-予防重視により医療費の一律抑制を防ぐ-

講 師 渡辺 俊介 国際医療福祉大学大学院教授

司会者 中村 伸一 おおい町国保名田庄診療所所長
全国国保診療施設協議会副会長



○国保直診開設者サミット (15:40~17:30)

テーマ 「新興感染症、大規模自然災害、人口減少社会を見据えた

これからの地域医療構想と地域包括医療・ケアのあり方」

～Covid-19、地震・豪雨・台風災害を経験して～

司会者 藤本 照夫 (大分県姫島村長)

海保 隆 (国保直営総合病院君津中央病院病院長)

助言者 高木 有生 (厚生労働省保険局国民健康保険課課長)



岩田東庄町長の発言の様子（写真上）



太田いすみ市長の発言の様子（写真上）

発言者

岩田 利雄（千葉県東庄町長）

太田 洋（千葉県いすみ市長）

保科 郷雄（宮城県丸森町長）

三枝 智宏（浜松市国民健康保険佐久間病院病院長）

特別発言者

原 勝則（国民健康保険中央会理事長）



○ポスター会場

多くの参加者が聴収していました。

大盛況でしたあ!! ポスター発表数 59題



○口演会場

多くの参加者が集まり、立ち見が出るほど充実の発表でした。演題数 142題



○パブリックビューイング会場



○ メインフロア奥には、キッチンカーも出店いただき、長蛇の列ができ参加者の笑顔も溢れていました。

◆しろのはち。

《メニュー（クレープ）》

- ・ハチミツとホイップ
- ・チョコバナナ
- ・黒蜜きなこ



◆フードトラック cosicosi

《メニュー》

- ・ビーフドッグ各種
- ・ソフトドリンク
- ・牛ハラミ串
- ・習志野ソーセージ
- ・コーヒーゼリーミルク 5
- ・いちごミルク
- ・かき氷各種



○受付ロビー

受付では、QRコードの読み取りを行うことで、迅速かつ正確に参加者の入場をご案内することができました。





○物産展及び企業展示ブース

受付ロビー横には多くのお店が物産展を展開していました。

千葉のお土産に多くのお客が集まり繁盛していたようです。 物産出店 9店舗



メインホール前に展開されていた企業展示にも、多くの参加者が足をとめて話を聞いていました。 企業展示 8社



2日目(9月17日)

○シンポジウム(9:00~11:00)

テーマ

「まったなし!の医師働き方改革」
～それぞれの地域における医師働き方
改革へのチャレンジ～



司会者	大原 昌樹(香川県:綾川町国民健康保険陶病院病院長)
	尾形 章(松戸市立総合医療センター病院長)
助言者	坪井 宏徳(厚生労働省医政局医事課 医師・看護師働き方改革推進官)
発言者	野村 幸博(地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院病院長)
	安蒜 聡(大網白里市立国保大網病院病院長)
	黒木 嘉人(岐阜県:国民健康保険飛騨市民病院管理者兼病院長)
特別発言者	島崎 謙治(国際医療福祉大学大学院教授)

○会員宿題報告(11:05~11:35)



演題

人生で大切なことはすべて地域から学んだ
～医療者にとって地域は宝物!～



報告者: 中村 伸一氏
福井県: おおい町国保名田庄診療所所長

○閉会式（11：40～12：00）

写真：挨拶をされる尾形副学会長



第63回全国国保地域医療学会の開催地（「福井県」）の発表がおこなわれ、国診協旗を引継ぎ、悠然と旗を振る第63回学会 学会長（おおい町国保名田庄診療所 所長）中村 伸一 氏

◆ 主 催

(公社)全国国民健康保険診療施設協議会
関東甲信静地区国民健康保険診療施設協議会
千葉県国民健康保険団体連合会

(公社)国民健康保険中央会
関東甲信静地区国民健康保険振興協議会
(公社)千葉県国民健康保険直営診療施設協会

◆ 学会長及び副学会長

学 会 長	国保直営総合病院君津中央病院	病院長	海保 隆
副学会長	大網白里市立国保大網病院	病院長	安蒜 聡
〃	松戸市立総合医療センター	病院長	尾形 章

参 加 者 1, 277名(2日間延べ)

後 援 32団体

協賛企業 99社

※ 当該学会の開催にあたり、ご協力いただいた関係者の皆様に謹んで御礼申し上げます。

令和4年度 関東甲信静地区 国民健康保険診療施設協議会

令和4年10月20日(木) 正午より
「関東甲信静地区国保診療施設協議会会長会議」が
ホテルメトロポリタン高崎(群馬県)において開催され
ました。



関ブロ国保診療施設協議会会長である、
君津中央病院 海保 隆 病院長の開会挨拶
から始まり、会則の一部を改正する事項、
令和6年度の担当県を長野県(輪番制)とす
る事項の2件について協議し承認されました。



その他として、令和5年度の千葉県開催に
ついて、令和5年10月26日(木)に千葉市
「オークラ千葉ホテル」にて開催予定である
旨の説明を海保会長がお話になりました。



午後 1時30分より

「関東甲信静地区国保診療施設協議会」が開会
されました。(ハイブリット形式で開催されました。)

関ブロ国保振興協議会 会長 佐藤 広
(代理:東京都国保連合会 草野 雅史)
群馬県国保診療施設協議会 会長 工藤 通明
群馬県健康福祉部 部長 歌代 昌文(オンライン)
全国国保診療施設協議会 会長 小野 剛

現地参加 40名 Web 参加 16名

講

演

「これからの地域包括医療・ケアと国診協の情勢も含め」

講師 公益社団法人 全国国民健康保険診療施設協議会

会長 小野 剛 氏

講演

「これからの地域包括医療・ケア ～国診協の情勢も含め～」

講師

(公社)全国国民健康保険診療施設協議会 会長 小野 剛 氏



本部報告

(公社)全国国民健康保険診療施設協議会

参事 伊藤 彰 氏

本部報告

「令和4年度国診協事業計画及び事業実施状況」

講師 公益社団法人 全国国民健康保険診療施設協議会

参事 伊藤 彰 氏



現在の医療提供体制を取り巻く状況や国保直診の特徴や課題、これからの国保直診の役割など60分間にわたり講演が行われました。

本部報告は、国診協の事業計画、上期における経過報告や財政状況などについて資料を用いて説明がなされました。

提出議題協議

座 長 群馬県国保診療施設協議会 会長 工藤 通明 氏

議 題 「地域医療連携の推進について」 提出県 神奈川県

要 旨 医療機器等の共同利用推進の方法、電子カルテの地域医療機関との連携の状況及びセキュリティの強化方法について

提出県からの要旨の説明を行い、座長の進行により各県の状況について報告を行いました。

最後には、国診協 小野会長より総括的な助言を頂戴し終了となりました。



関東甲信静地区における歯科保健部会
設置に係る意見交換会

座 長

茨城県常陸大宮市国保美和診療所
所長 高橋 健 氏(オンライン)

- 関東甲信静地区歯科保健部会設置について
座長より主旨の説明を行い異議なしで承認されました。
- 関東甲信静地区歯科保健部会部会長及び副部会長について
事務局(群馬県国保連合会担当課長)より案が示された。
部会長 茨城県常陸大宮市国保美和診療所 所長 高橋 健 氏
副部会長 国保直営総合病院君津中央病院 神津 由直 氏
異議なしで承認されました。

※ 令和5年度の当該協議会において、関東甲信静各県の歯科保健部会の設置状況や代表者の選出などの報告が出来ることを目標に各県で運営をしていく方針となりました。
千葉県においても、会員施設のご協力をお願いすることもあると思います。
どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和4年度

薬剤部会 研修会



- ◆ 日時 令和4年11月12日(土) 午後2時～
- ◆ 場所 「オークラ千葉ホテル 2階 アイリス」
- ◆ 形式 ハイブリット形式



演題

『地域包括ケア病棟の「いままで」と「これから」』

講師

総合相模更生病院 薬剤部主任 矢倉 尚幸 氏

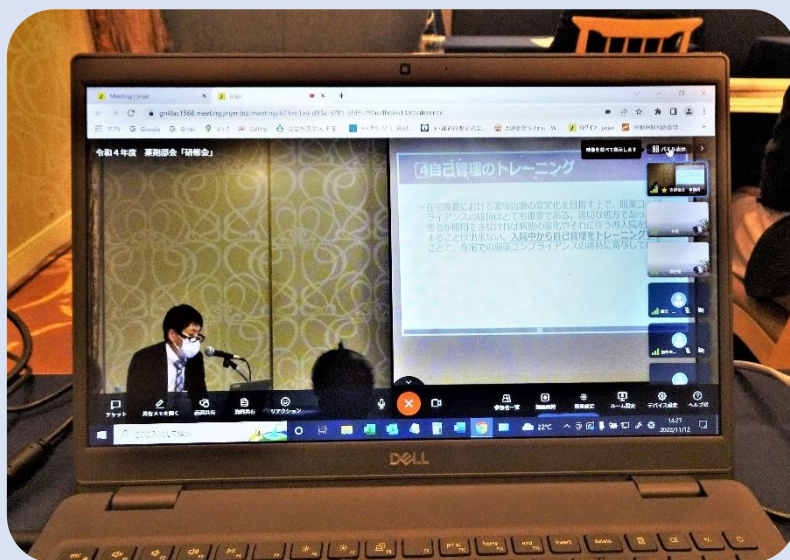




(直診協会 事務局長)

○ 直診協会 事務局長及び薬剤部会 部会長の挨拶から
研修会が開会されました。

この研修会は、ハイブリット形式で開催され、Web から
も多数の方にご参加いただきました。



(上記:Web 配信画面)



○ 講師の矢倉先生の所属病院の現状を
絡めながら、薬剤師の必要性や役割など
を具体的な事例とともに、わかりやすくご
講演していただきました。



(上記:現地参加で聴講している様子)



(部会長が講演の総括と講師への御礼の挨拶をする様子)

◆◆ 部会長総括 ◆◆



(公社)千葉県国保直診協会薬剤部会研修会として、初めてハイブリット形式での研修会ということもあり、至らない点もあったかと思いますが、現地参加の方とは顔を合わせて交流することもできました。

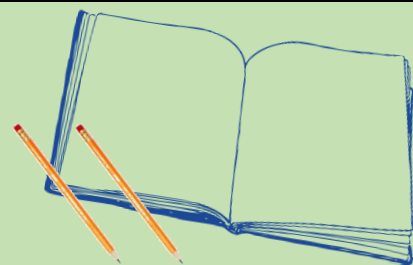
また、業務の都合上、現地参加ではなくWeb参加という方もおられましたが、部会の活動を再開することができました。これを機に、今後はさらに薬剤部門のみなさまにご参加いただけるような企画など発信していけるように、幹事一同努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

ご講演くださいました、講師の総合相模更生病院 薬剤部主任 矢倉 尚幸先生におかれましては、遠路のところ千葉までお越しくださいます、この場をお借りして改めて御礼申し上げたいと思います。

(公社)千葉県国保直診協会においては、ハイブリット形式での研修会は初めての試みとなったことから、現地参加とWeb参加の両聴講者への対応が不十分な部分もあり、事務局として、反省点は多かったものの、今後への収穫も多い研修会となりました。

直診協会 事務局

令和4年度



事務部会 研修会



令和4年11月28日(月) 午後1時30分から

千葉県国保会館4階第1会議室にて事務部会 研修会を開催いたしました。

○ 講演

テーマ「診療報酬請求事務について」

講師 千葉県国民健康保険団体連合会 総務部 企画情報課 審査システム係

主事 小野寺 美友貴 氏





○ 個別指導

千葉県国保連合会審査担当職員による個別指導。
事前質問に回答する形式での質疑応答が基本となりますが、
その場にての質問にも対応してくださいました。



会員施設からは、病院 14 施設と
診療所 1 施設 23 名が参加し、千
葉県国保連合会 16 名が個別指導
にあたってくださいました。

○ グループ討議及び情報交換

施設の規模ごとに3つのグループに分けて、事前にいただいていたテーマを討議する形式で行いました。各グループに書記を1名設定し討議結果についても全会員施設で共有することとしています。

(千葉県国保直診協会ホームページ「会員情報」「部会のお知らせ」「事務部会」の中に掲載されております。)



個別指導時の各施設の質問事項・グループ討議のテーマなどの回答及び討議結果は、千葉県国保直診協会ホームページ「会員情報」に掲載しております。是非参考にしてください。

<https://chokushin.or.jp/>

◆◆ 幹事総括 ◆◆

新型コロナウイルス感染症の影響により、会員施設間での交流やかかわりが希薄となってしまっているなかでの、対面による研修会の開催に国保直診施設間での繋がりを大切にしていきたいと改めて感じたところでございます。

さて、今回の研修会については、国保連合会職員の皆様のご協力なくしては開催できないものでありましたので、事務部会幹事一同から御礼を申し上げますところでございます。

今後も事務部門のみなさまにご参加いただき、有意義で活発な部会となるよう幹事一同努めて参りますので、よろしくお願いいたします。

医療従事者募集

あなたの力を、地域で活かそう!

看護師

君津中央病院
長生病院
香取おみがわ医療センター
東陽病院

さんむ医療センター
いすみ医療センター
匝瑳市民病院
鋸南病院

理学療法士

さんむ医療センター
鋸南病院

作業療法士

さんむ医療センター



公益社団法人 千葉県国民健康保険直営診療施設協会

TEL 043-256-8801





編集発行人 平 山 寛

発行所 公益社団法人



千葉県国民健康保険直営診療施設協会

千葉市稲毛区天台 6-4-3 国保会館 3 階

電話 043-256-8801